



2020年度第3四半期

化学の力で未来を今日にする

ZEON

決算報告

日本ゼオン株式会社

2021年1月29日

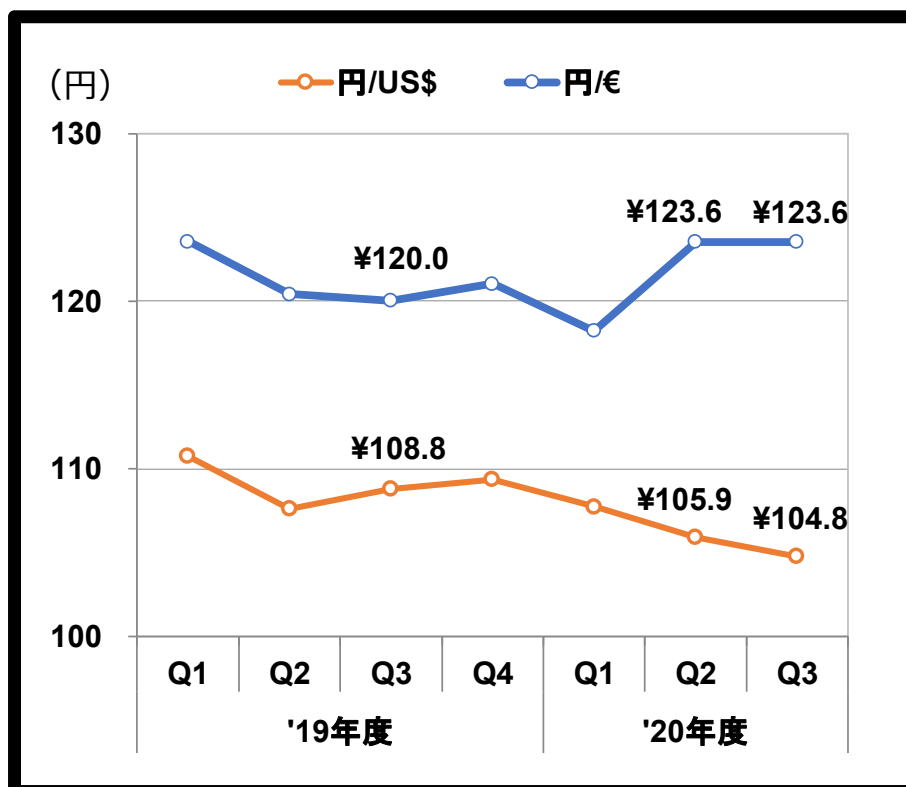
■ 2020年度Q3決算の総括	P.2
■ 同 事業環境（為替・主原料）	P.3
■ 同 業績サマリー	P.4
■ 同 P/Lの概要（セグメント別）	
● エラストマー素材	P.7
● 高機能材料	P.10
● その他	P.15
■ 同 B/Sの概要	P.17
■ 同 C/Fの概要	P.18
■ 2020年度通期業績予想	P.20

エラストマー素材需要は全体として回復基調、高機能材料は堅調。結果、Q3の売上高はほぼ前年同期並み、営業利益は前年同期を大きく上回った。新型コロナウイルスによる調達・生産への影響はない。

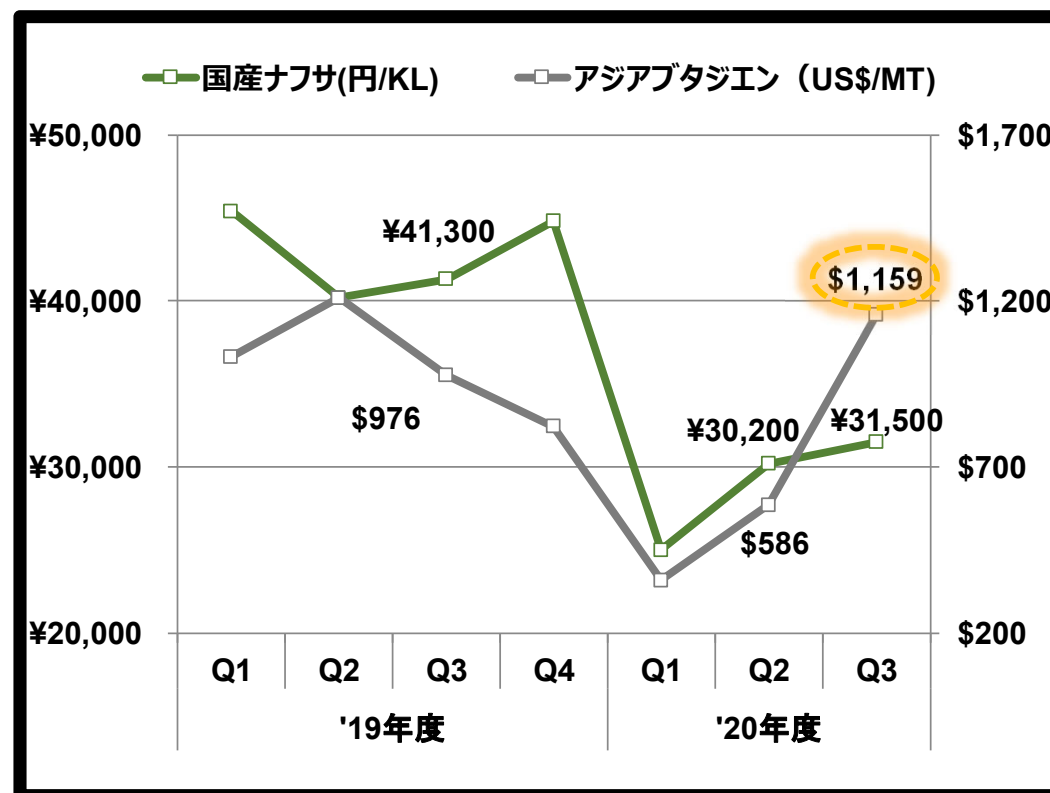
エラストマー素材：
合成ゴムの需要は回復傾向、化成品の需要は底堅く推移。ラテックスはコロナ禍で医療・衛生用手袋向け需要が予想より拡大。

高機能材料：
光学フィルム、光学樹脂の需要は堅調。電池材料も回復傾向。トナーはコロナ禍で家庭用プリンター向け需要が拡大。結果、高機能材料は四半期決算として過去最高益を更新。

【為替推移】



【主原料推移】



		2019年度 Q3	2020年度 Q2	2020年度 Q3	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥108.8	¥105.9	¥104.8	△4%	△1%
	円/€	¥120.0	¥123.6	¥123.6	+3%	0%
主原料	国産ナフサ/KL	¥41,300	¥30,200	¥31,500	△24%	+4%
	アジアブタジエン/MT	\$976	\$586	\$1,159	+19%	+98%

(単位：億円)	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	前期Q3	今期Q3	対前期比
	2019年度 Q3	2020年度 Q2	2020年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減	累計期間	累計期間	
売上高	792	679	789	△3	+110	2,426	2,163	△262
営業利益	65	56	112	+46	+56	215	211	△5
経常利益	75	59	120	+45	+61	235	229	△6
当期純利益	51	46	93	+41	+47	167	174	+8

- 売上高は対前年同期比3億円減収、営業利益は46億円増益
- 対前期比で売上高は110億円増収、営業利益は56億円増益
- 今期Q3累計売上高は前年比262億円減収、営業利益は5億円減益

注記：海外関係会社の2020年7～9月実績がQ3連結決算に反映されています。

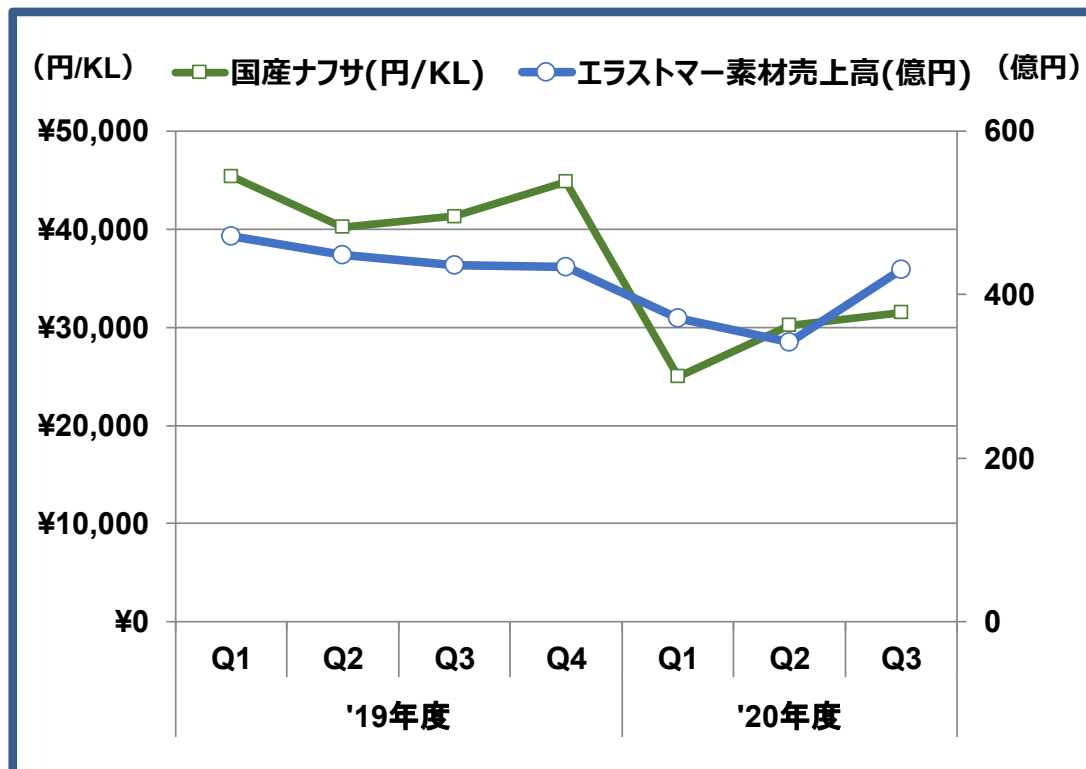
（単位：億円）

【売上高】	2019年度 Q3	2020年度 Q2	2020年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減
エラストマー素材	435	342	431	△4	+89
高機能材料	224	242	237	+13	△5
その他の事業、消去等	132	96	121	△11	+25
売上高合計	792	679	789	△3	+110

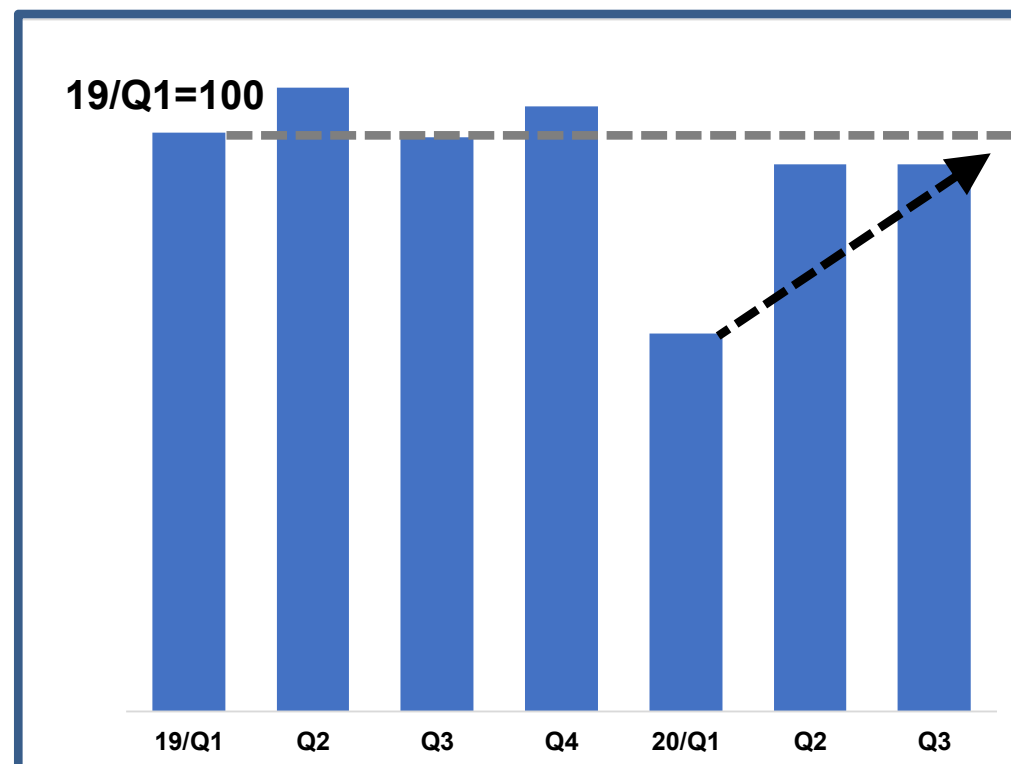
【営業利益】	2019年度 Q3	2020年度 Q2	2020年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減
エラストマー素材	26	9	45	+19	+35
高機能材料	40	49	66	+26	+17
その他の事業、消去等	△ 1	△ 3	1	+2	+4
営業利益合計	65	56	112	+47	+56

■ 2020年度Q3決算の総括	P.2
■ 同 事業環境（為替・主原料）	P.3
■ 同 業績サマリー	P.4
■ 同 P/Lの概要（セグメント別）	
● エラストマー素材	P.7
● 高機能材料	P.10
● その他	P.15
■ 同 B/Sの概要	P.17
■ 同 C/Fの概要	P.18
■ 2020年度通期業績予想	P.20

【国産ナフサ価格とエラストマー素材売上高推移】



【合成ゴム出荷量推移】



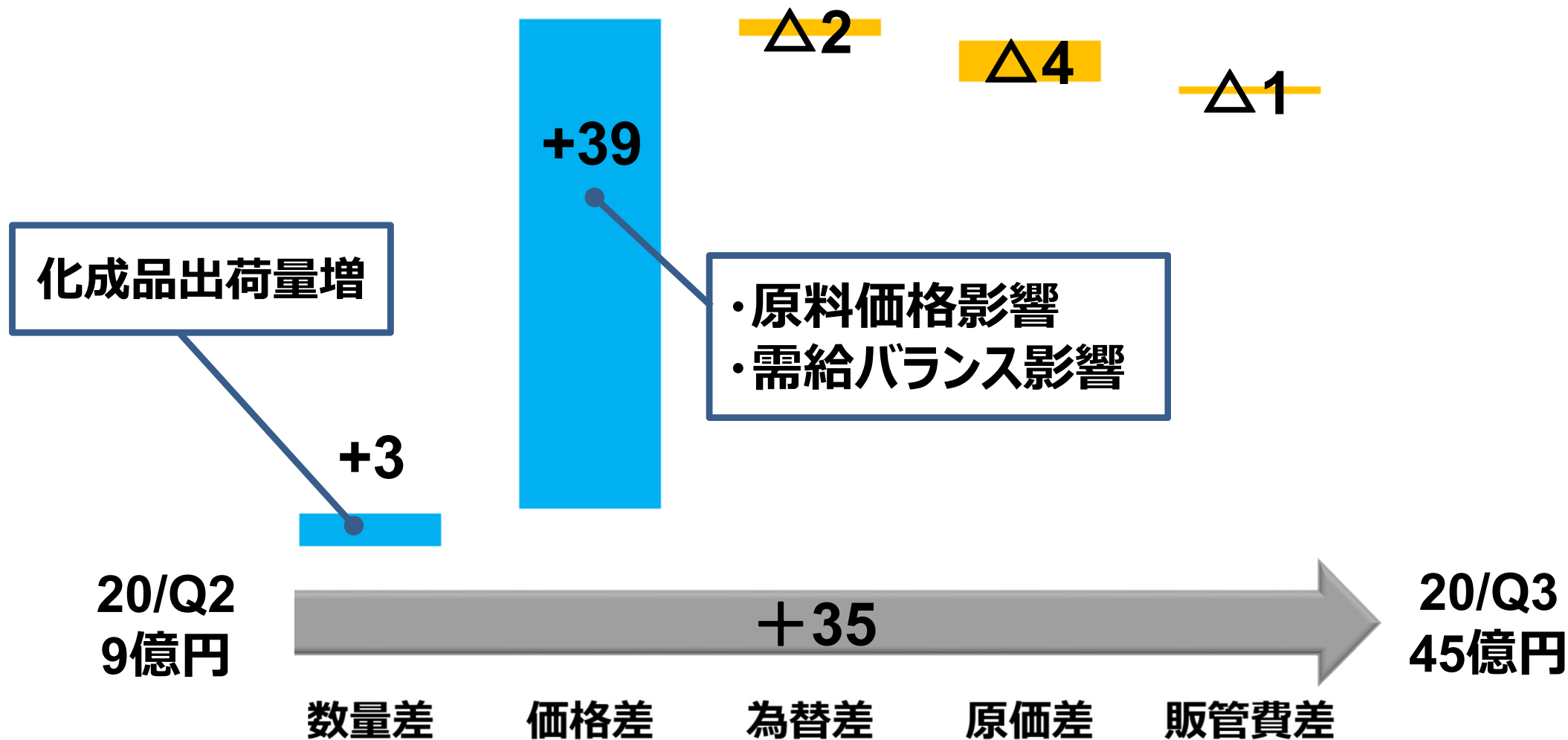
- 主原料市況および需給バランスにより価格が上昇、売上高が増加
- 合成ゴムの出荷量はQ2以降回復傾向

(単位：億円)	2019年度 Q3	2020年度 Q2	2020年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量（千トン）	150	146	151	1	1%	5	4%
合成ゴム	85	82	82	△3	△4%	△0	△0%
ラテックス	33	31	32	△1	△3%	1	2%
化成品	32	33	37	5	16%	4	14%
売上高	435	342	431	△4	△1%	89	26%
合成ゴム	297	218	286	△11	△4%	68	31%
ラテックス	41	32	45	4	10%	13	41%
化成品	87	79	85	△2	△2%	6	8%
その他・消去	10	13	15				
営業利益	26	9	45	19	73%	35	374%
営業利益率	6%	3%	10%				

- 合成ゴム：出荷量は前年同期並み。原料価格に連動して価格上昇、対前期比で売上高増加
- ラテックス：医療・衛生用手袋向けラテックスの需給バランスにより価格上昇、売上高が増加
- 化成品：石油樹脂の需要底堅く出荷量増、対前期比で売上高が増加

エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (QoQ) ZEON

(単位：億円)



(単位：億円)	2019年度 Q3	2020年度 Q2	2020年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	224	242	237	13	6 %	△ 5	△ 2 %
高機能ケミカル	73	67	69	△ 4	△ 5 %	2	3 %
高機能樹脂	137	163	154	17	12 %	△ 9	△ 6 %
メディカル他	14	12	14	△ 0	△ 3 %	2	17 %
営業利益	40	49	66	26	65 %	17	35 %
営業利益率	18%	20%	28%				

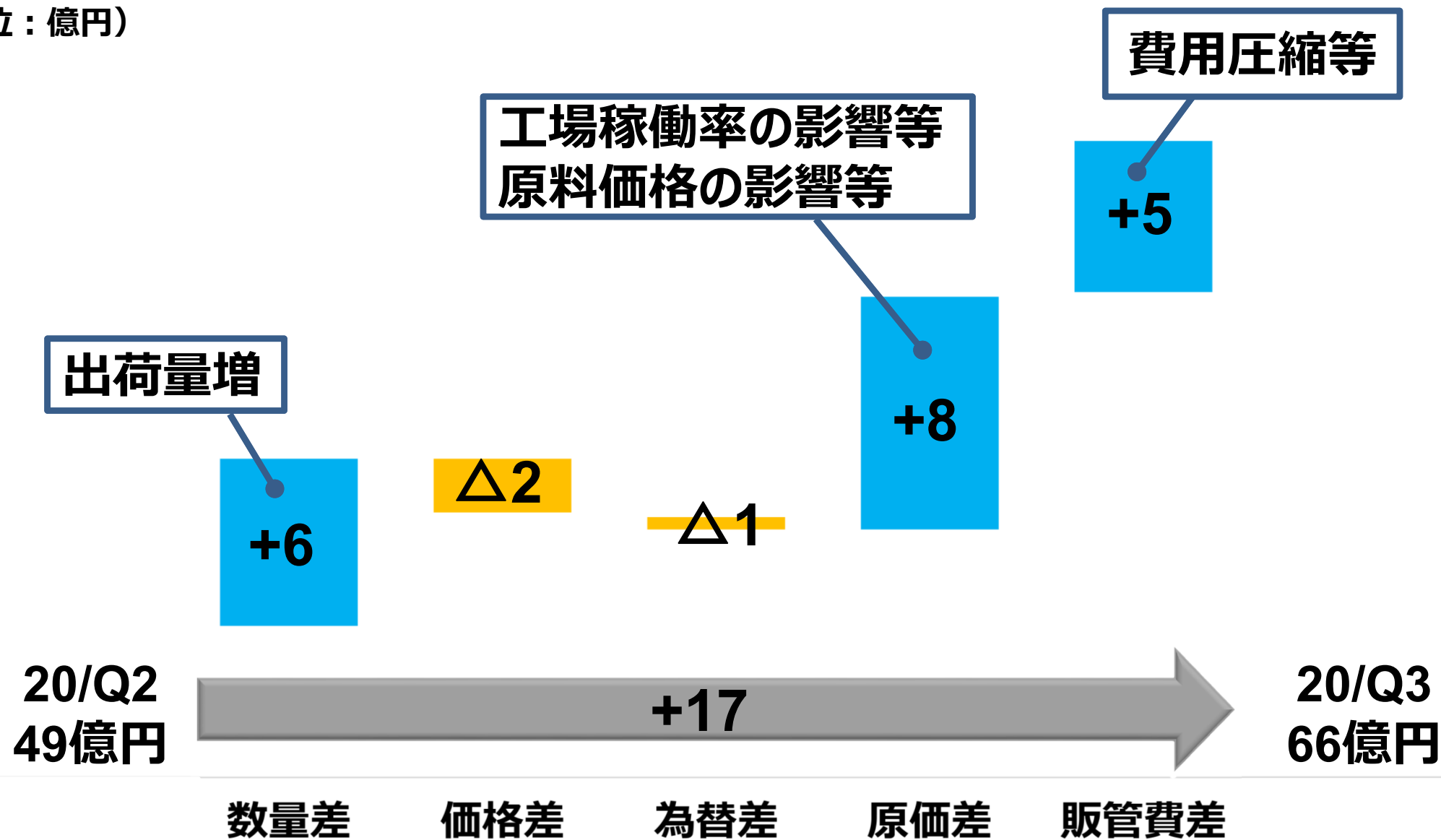
■ 高機能ケミカル関連

- 電池材料の荷動きは回復傾向
- トナーはコロナ禍で家庭用プリンター向けの需要が拡大
- 化学品の需要は堅調だが、主力工場の定期検査に備え出荷量を調整

■ 高機能樹脂関連

光学樹脂、光学フィルムともに堅調

(単位：億円)



	YoY	QoQ
EV向け	112%	142%
民生他向け	173%	98%
全体	128%	123%

■ EV向け

欧米向け、中国向けともに荷動きは回復傾向

■ 民生他向け

民生用ではテレワークを背景としたモバイル端末向け用途、5G基地局向けを含む産業用途（ESS）も堅調

	YoY	QoQ
光学用途	150%	125%
医療、その他	95%	96%
全体	110%	124%

■ 光学用途向け

携帯端末マルチカメラ化等により需要は堅調

今年7月完工予定の能力増強工事および定期検査に向け
引き続き出荷量を調整

■ 医療、その他用途向け

需要は堅調、光学用途と同じく出荷量を調整

高機能材料事業の状況：光学フィルムの状況（出荷量）ZEON

	YoY	QoQ
中小型向け	131%	105%
大型向け	106%	97%
全体	112%	99%

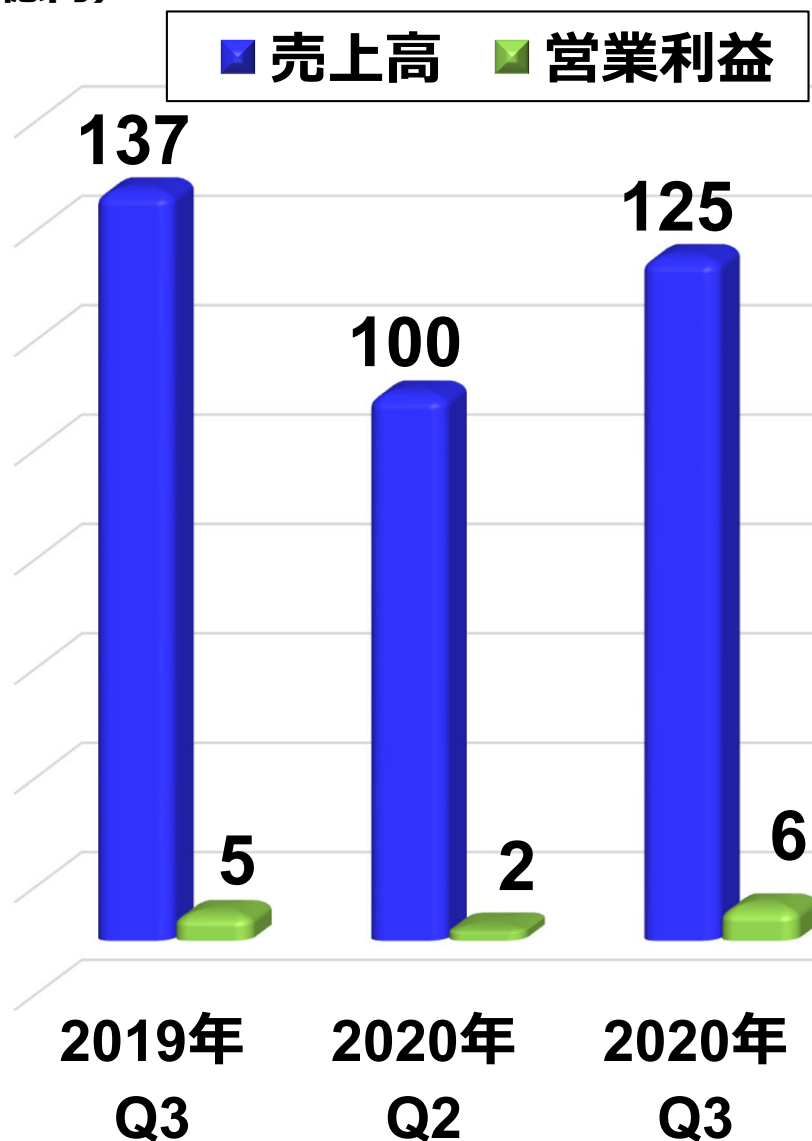
■ 中小型向け

テレワークを背景としたモバイル端末向けの需要が引き続き堅調

■ 大型向け

一部需要減を折り込むも、中国市場向けが伸びて堅調を維持

(単位：億円)



【対前年同期比】

売上高 : Δ 12億円

営業利益 : +1億円

【対前期比】

売上高 : +25億円

営業利益 : +4億円

商社部門、塗料部門の売上高が増加

■ 2020年度Q3決算の総括	P.2
■ 同 事業環境（為替・主原料）	P.3
■ 同 業績サマリー	P.4
■ 同 P/Lの概要（セグメント別）	
● エラストマー素材	P.7
● 高機能材料	P.10
● その他	P.15
■ 同 B/Sの概要	P.17
■ 同 C/Fの概要	P.18
■ 2020年度通期業績予想	P.20

総資産4,195億円 (+144億円)

【流動資産】 +42億円

◆ 現預金 +101億円

◆ 売掛債権 +13億円

◆ 棚卸資産 △46億円

【流動負債】 △39億円

◆ 買入債務 △35億円

流動資産

2,187

(+42)

流動負債

1,085

(△39)

固定負債 322 (△2)

純資産

2,789

(+185)

固定資産

2,009

(+102)

流動比率 : 202%

手元流動性 : 1.8カ月

【固定資産】 +102億円

◆ 資本的支出 +150億円

◆ 減価償却費 △128億円

◆ 投資有価証券 +92億円

【純資産】 +185億円

◆ 純利益 +174億円

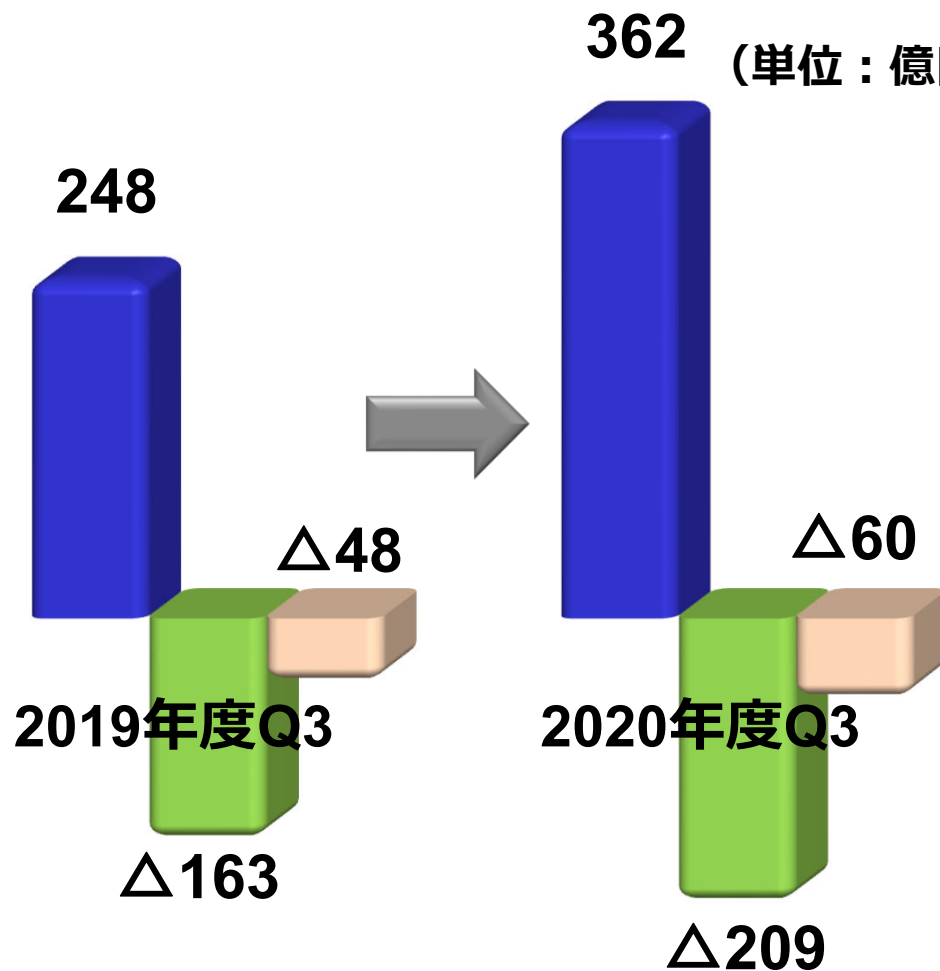
利益剰余金 +137億円

◆ 財務指標

・有利子負債 210億円 (-)

・自己資本比率 65.8% (+2.3%)

・D/Eレシオ 0.08 (-)



	2019年度Q3	2020年度Q3
営業CF	248	362
投資CF	△163	△209
フリーCF	85	152
財務CF	△48	△60
CF	37	92

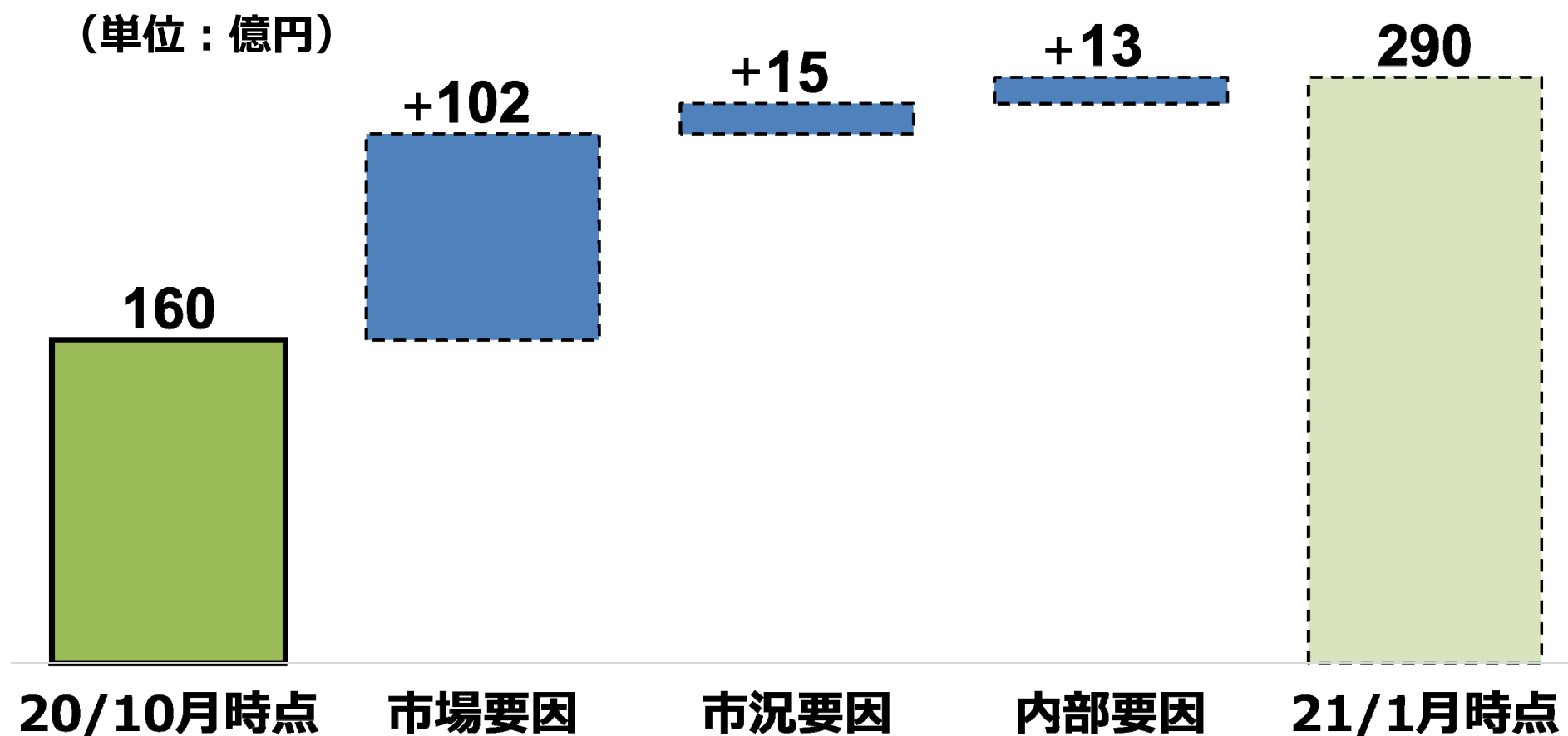
- ◆ 営業CF : +114億円
 運転資金 +22億円
- ◆ 投資CF : △46億円
 光学フィルム設備投資増等 △32億円
- ◆ 財務CF : △12億円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

■ 2020年度Q3決算の総括	P.2
■ 同 事業環境（為替・主原料）	P.3
■ 同 業績サマリー	P.4
■ 同 P/Lの概要（セグメント別）	
● エラストマー素材	P.7
● 高機能材料	P.10
● その他	P.16
■ 同 B/Sの概要	P.18
■ 同 C/Fの概要	P.19
■ 2020年度通期業績予想	P.20

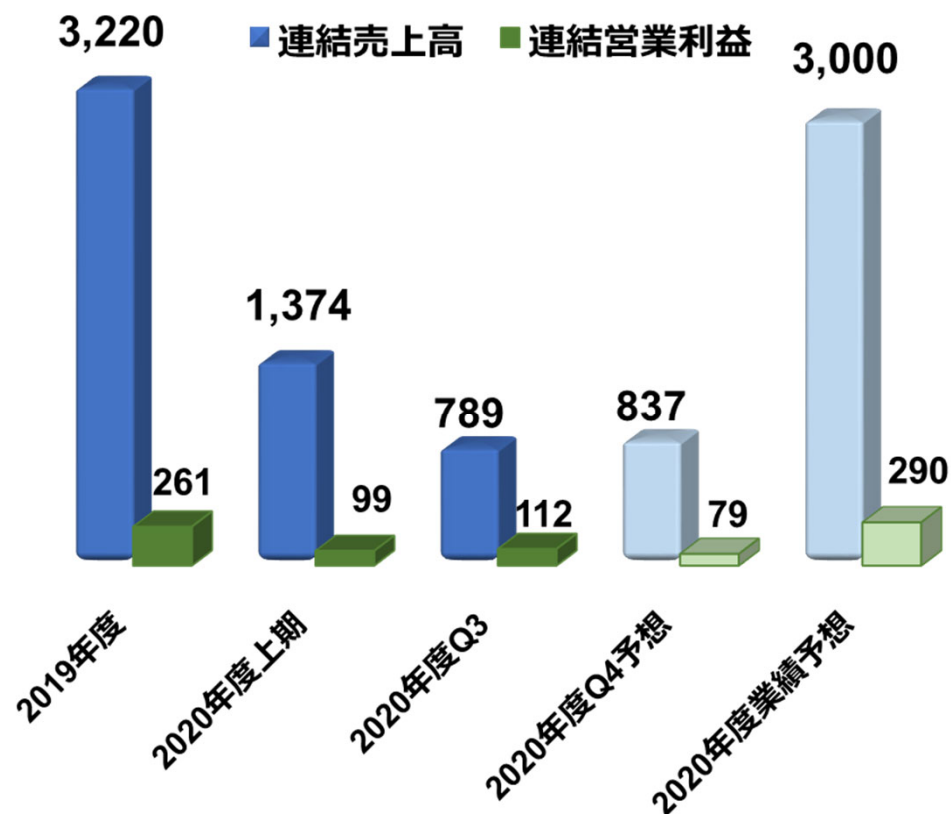
要因	内訳	利益指標への影響	前回見込作成時からの変化点
市場要因	合成ゴム	↑	主原料市況に伴い価格上昇、需要も回復傾向へ
	ラテックス	↑	医療・衛生用手袋向け需要拡大、需給バランスにより価格上昇
	化成品	↑	石油樹脂の需要底堅く出荷増
	トナー	↑	コロナ再拡大で家庭用小型プリンター向け需要拡大
	光学フィルム	↑	大型は中国市場向け拡大、中小型も引き続き堅調
市況要因	為替	↑	予算為替レートに対し米ドル、ユーロとも円安で推移
	主原料	↓	予算設定価格に対して割高で推移
内部要因	コスト圧縮	↑	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ再拡大により出張旅費等の不急費用圧縮 ・自助努力による原価低減

多くの要因がプラスサイドに効き、利益指標を押し上げる見通し

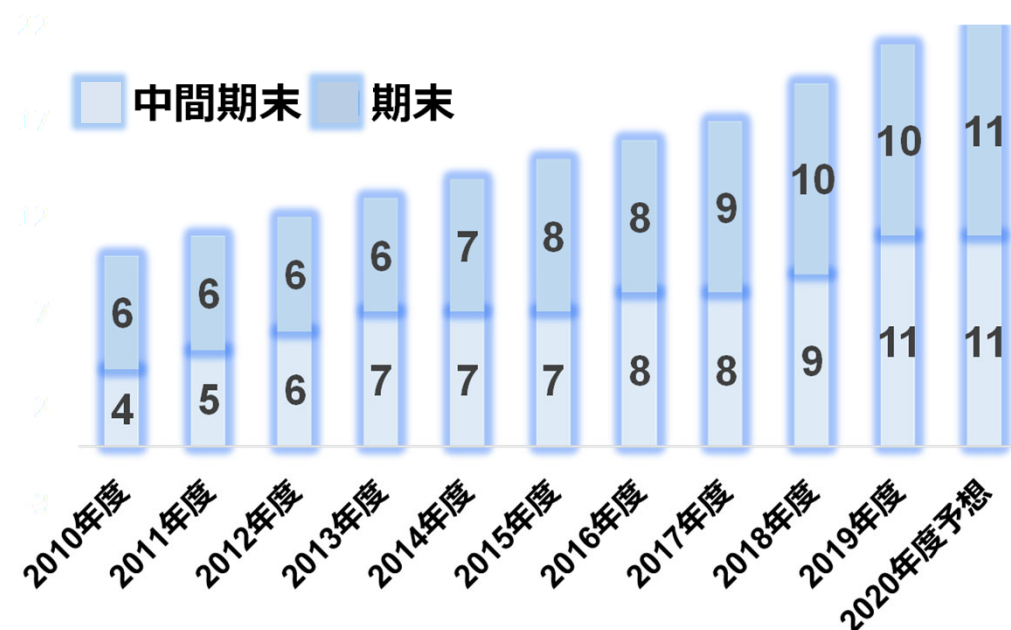


- 2020年度通期の営業利益は160億円から290億円になる見通し
- 市場要因+102億円の約6割はエラストマー素材に起因

【売上高・営業利益予想】（単位：億円）



【配当金予想】（単位：円）



- 2020年度通期業績を、売上高3,000億円、営業利益290億円に修正
- 2020年度期末配当金予想を11円に修正、通期で22円配当を予想（対前年度実績+1円）

国内外全ての事業所、製造拠点において感染予防を徹底し、引き続きサプライチェーンの維持および従業員やその家族の健康・安全の確保に努めてまいります。

なお、本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

2020年度決算報告予定日	2021年4月28日（水）
----------------------	----------------------

上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます。

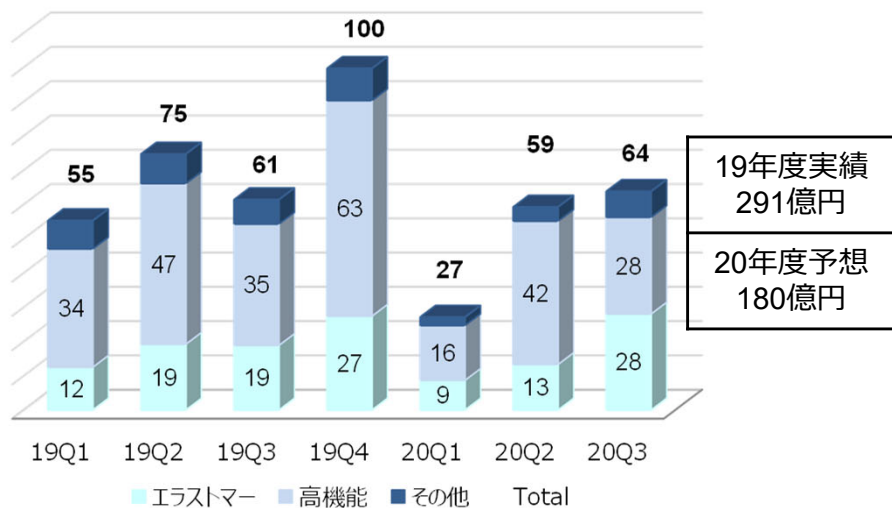
ZEON

日本ゼオン株式会社

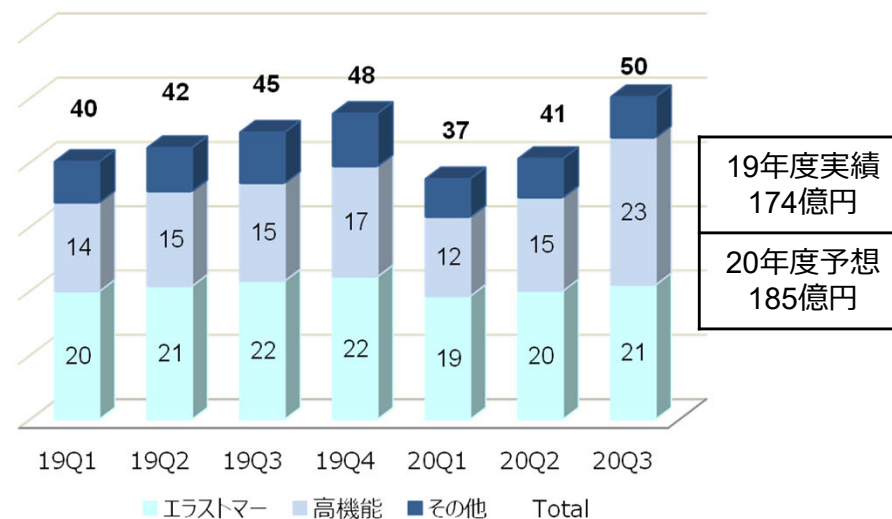
以上

参考資料：資本的支出、減価償却費、研究開発費推移 ZEON

資本的支出 推移 (単位：億円)



減価償却費 推移(単位：億円)



研究開発費 推移(単位：億円)

